

私たちの「学校運営協議会」のカタチ

1. 組織のイメージ図

これまでは「学校」と「地域」が分かれていましたが、今は一つの円の中にいます。

- **中心**：子どもたち
- **内側**：学校（先生）
- **外側**：学校運営協議会（委員の皆様）

※委員は、保護者・地域住民・学識経験者などで構成されます。

2. 「3つの柱」で支える構造

学校運営協議会の役割は、この3本柱で成り立っています。

柱の役割	具体的にいうと？
① 方針の承認	校長の「経営プラン」を聞き、地域として「OK!」を出す。
② 意見の提案	地域の目線から、「もっとこうしたら？」を学校へ伝える。
③ 学校の応援	地域のチカラ（知恵・人手）を学校に貸し出す。

3. この会の「立ち位置」

委員の皆様は、豊田市教育委員会から任命された、いわば「学校の共同経営者」です。学校の壁を取り払い、地域と学校を太いパイプでつなぐのが皆様の役割です。

4. まとめ：目指す姿

「学校を支える」だけでなく、「学校を通じて地域も元気になる」という双方向の形を目指します。

- 学校が地域の困りごとを解決する場になる（防災・多世代交流）。
- 地域が学校の学びを豊かにする（体験学習・見守り）。

「皆さんは、ただの『ご意見番』ではなく、『学校の応援団長』です。皆さんが『OK』とってくれることで、先生たちは安心して新しい教育に挑戦できます！